

【教育活動の名称】 児童の実態に応じた体育器具の充実

【副題】 体育の授業および水曜パワーアップタイムでの体力づくりについて

【学校名】

長浜市立古保利小学校

1 本校の概要

本校は全校生徒 79 名 7 学級の小規模校である。学校の周りに田畑が広がり、学校林を有する自然に恵まれた学校である。また、土俵がある数少ない学校であり、毎年、春に相撲大会を行っている。

2 取り組んだ内容

(1) 水曜パワーアップタイム

新体力テストの結果から、本校の児童は、全体的に全国平均を下回っていることが分かった。特に、跳躍力、瞬発力が平均を大きく下回っていたため、水曜日のパワーアップタイムに、体力づくりとして、縄跳び、大縄跳び、ラダー、反復横跳び、ケンステップ、ゴム跳びを取り入れ、全校で実施した。

(2) 走り高跳び、ティーボール、逆上がり

体育の授業で使用する走り高跳びのバーと支柱、ティーボールのティーが老朽化に伴い壊れていたため、購入した。今までは、使用できる高跳びのスタンドとバーが 1 つしかなかったため、高さの調整に時間がかかっていたが、追加購入できたおかげで、児童ひとりあたりの練習回数を増やすことができた。そのおかげで市の陸上記録会では、5 年男児の 1 位という好成績につながった。また、ティーボールにおいても同様である。鉄棒では、特に、逆上がりができない児童が多い。そこで、購入させていただいた逆上りの補助用具を使い、児童が、繰り返し練習することにより、逆上りのコツを習得し、技の向上につなげていく。



3 活動の成果

水曜パワーアップを通して、本校児童が苦手としていた跳躍力、瞬発力について、楽しみながら取り組むことができた。縄跳びでは、毎年行われる縄跳び大会に、本年度は新たに大縄跳びを追加した。縄飛び大会に向けて、休み時間にも練習する児童が多くみられた。さらに、縄跳び大会を終えてからも大縄跳びに取り組んでいる児童がいた。

体育の授業では、走り高跳び、ティーボールの練習回数が増え、児童の意欲と技能の向上につながった。逆上がりでは、時期が冬であったことから、次年度に、購入させていただいた用具を使って、逆上がりに取り組みたい。

今後の課題として、瞬発力の向上があげられる。市や県の体育部会での実践を参考に、児童が楽しく意欲をもって取り組めるよう、工夫していきたい。

